

大阪城

2025

10/9 (木)

14553 号

金港海
西成分会

2247
6647-
4947

気温も28度と19度とがに下ってきて。なんとが秋らしくなってきました。ふっと一息ついた感じになったり。同時にドット夏の暑さの疲れが出てきそうな自然の転換期になっています。自民党もなるとが新総裁が決まり。新しく出発すると言っています。高市総裁はアベノミクスは正しかったし。これからアベノミクスの政策をやっていくと言っている人のようです。

自民党の中でも安倍さんのアベノミクスをまたやることには、半分ぐらいが反対でしょうから。高市総裁も言っていることと。実際の政治の実行では、困難にぶち当たると予想されています。

赤字国債を出しても財政出動をやめるのだろうと見られているので、円に対する信用が軽くなつて円は150円以上の円安に流れています。円安になると円の値うちがないもんで、輸入口は高くなります。今の食料品ははじめの物価高がますます高まりインフレが加速してきます。長くいしにやってきました。与党の公明との関係もギリシャクしはじめています。10/15(水)予定の国会にむけドタバタしはじめています。

★2025年のノーベル生理学・医学賞を
大阪大学の土反志文教授(74)が受賞した。

免疫反応を抑えるブレーキ役となる「制御性T細胞」を
発見した。アレルギーや1型糖尿病などの自己免疫疾患、
がんといった病気の新たな治療法の開発に道を
開いた。



これは科学を衰退させ、このままでは
破滅的な結果をもたらす

ノーベル物理学賞に決まったクラーク氏、米政府 の研究費削減に警鐘 「半年前に戻すのに10年かかる」

今年のノーベル物理学賞の受賞が決まった米国の物理学者ジョン・クラーク氏は7日、米政府による研究資金の削減について、科学を衰退させかねず「このまま続けば破滅的な結果になる」と警鐘を鳴らした。今年のノーベル物理学賞に決まったジョン・クラーク氏「私は個人的にも、研究費の大部分を失った研究者を何人も知っている。こうした状況が続けば、米国の科学研究の多くは麻痺するだろう。しかも、物理学だけの問題ではない。国立衛生研究所も、理解に苦しむ理由で巨額の予算削減を受けている。これは科学を衰退させ、このままでは破滅的な結果をもたらす。現在の政権が最終的に代わったとしても、半年前の水準に戻るまでには10年はかかるかもしれない」カリフォルニア大学バークレー校に所属するクラーク氏は、「量子物理が作用する様子を実証した実験」により、ミシェル・デヴォレ氏、ジョン・マルティニス氏とともに2025年のノーベル物理学賞受賞が決まった。クラーク氏は「受賞の知らせを聞いて本当に驚いた」と語った。授賞の理由としてスウェーデン王立科学アカデミーは、クラーク氏ら3氏が「量子暗号、量子コンピューター、量子センサーなど、次世代の量子技術を開発する機会を提供した」としている。

(※)資料 ロイター

自分の政治的主張と違ふからとして、科学を攻撃する事は愚かなことです